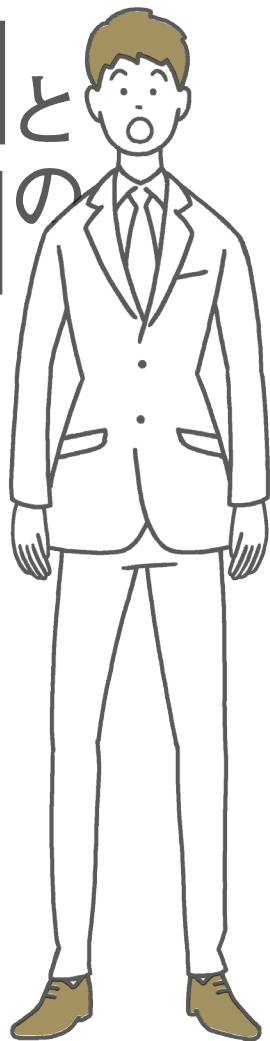


¥ 気づいたときには1億円! ¥

日本一カンタンな

「投資」と
「お金」の
本



MONEY
AND
INVESTMENT
MADE EASY

中桐啓貴
HIROKI NAKAGIRI

CROSSMEDIA
PUBLISHING

はじめに

私は2007年に『会社勤めでお金持ちになる人の考え方・投資のやり方』という本を出し、その本を通して積み立て投資でグローバルに分散投資をしましょうということを書きました。そして少なくとも読者からとても参考になった、ぜひこれから積み立て投資を始めたという声を頂きました。

それから早いもので12年が経ち、その間にはリーマンショックやチャイナショックがありました。積み立て投資を継続していれば、投資元本に対して2倍以上になっていたはずです。

しかしながら、私のところに読者から一通もお礼の手紙、つまりは「中桐さんの本のお陰で資産を増やすことができました」が来ないのです。もちろん感謝してほしいわけではありません。

不思議に思った私はあるネット証券に積み立て投資をしている投資家の平均積み立て期

間を調べてもらいました。すると驚きの数字が出てきました。それは「積み立て投資の継続期間は2〜4年間」だったのです。要するに、10年、20年と継続して積み立て投資をしようと思いついて始めた方が、実は数年間で積み立て投資をやめてしまっているのです。

せっかく投資を始めたのに すぐやめてしまうのはなぜ？

アメリカのファイナンシャルアドバイザーの間では、「リスクとはマーケットが変動することではなく、投資を途中でやめてしまうことだ」と言われています。

私も独立系ファイナンシャルアドバイザー（IFA）として、アドバイザー12名を抱えるIFA法人の経営をしており、約730名のお客様の資産300億円に対して日々アドバイスをしています。その中心となるアドバイスが長期分散投資に対する理解を深めていただくことです。

最初は投資におっかなびっくりだった方が、長期投資への理解が深まれば深まるほど、日々のマーケット変動に動じなくなります。2018年も2月、10月、12月に大きくマーケットが下がりましたが、一度長期投資の考えを理解された方からは、私が電話をしても「(相場の動向を)全く心配をしていません」という返事が来るようになりました。

この本の目的は、みなさんに**投資の軸**を持つてもらうことです。投資の軸を持つとマーケットに対してのネガティブな情報が入ってもブレなくなります。毎日のようにトランプ大統領の発言や米中貿易摩擦などがテレビやネットを通じて飛び込んできますが、その情報によって軸がない投資家は一喜一憂して、長期投資をやめたいという衝動に駆られます。一方、軸を持っている投資家はマーケットの変動に対して平然と受け流すことができます。

私には社員30人の会社の経営者という顔もあります。会社経営も最初の頃は経営に対する軸がなかったもので、日常の些末な出来事に頭を悩ませていました。しかし、ある経営塾に半年ほど通い、そこで経営の原理原則を学ぶことで私の中に軸ができました。そうすると、不思議なもので体がふっと軽くなり、経営の判断がブレなくなりました。

残念ながら巷にある投資に関する本は、短期的ないわゆるノウハウ本が多く、その時は分かった気になりますが、そのノウハウが長期投資の手助けになるとは思えません。一方で、投資の軸を作るための必要な知識が書いてある資産運用の専門書は、どれもハードカバーで400ページぐらいあり、完読するにはそれなりの事前知識が必要になります。

資産運用が仕事でないみなさんがこれらの専門書と格闘する必要はありません。この本では私が仕事としてこれまで読みためてきた本や長年のファイナンシャルアドバイザーとしての経験から、長期投資を継続する上で必要と思うものを書き出しています。

そしてその知識をスムーズに身につけていただくために、小説にしました。

なぜなら、**投資の軸を身につけるには、順を追って理解をしていく必要がある**からです。本書では、ほとんど金融や投資に対する知識がない30代前半の隆一が投資のことを先生から学んでいくという物語になっています。

投資とギャンブルの違い、資本主義下でなぜ株価は上がり続けるのか、これまでのバブルの歴史、行動ファイナンス、なぜ分散投資をする必要があるのか、などの知識が順番に分かるようになっていきます。

一番シンプルで一番儲かる 方法があるのになぜやらない？

日本人は株式や投資信託に対する不信感が根強いです。理由のひとつは、日本株がここ30年間停滞をしているので、周りに投資で儲かった人がいないことが大きいと考えます。

もうすぐ平成も終わりますが、平成元年に日経平均株価に投資をして、30年間持ち続けただけで半分になっています。

しかしその一方、米国株に30年前に投資をしていればこの30年間で10倍、ドイツ株に投資をしても10倍になっています。アメリカ人やドイツ人は今すぐ使わないお金は投資に回そうとします。なぜなら、銀行に置いてあるより投資に回した方が長期的に見ればよっぽど利回りがいいと考えるからです。だから資産の半分以上を投資に回すのです。

翻って日本人はどうかというと、日本株の低迷と投資に対する正しい知識を習ったことがないせいで、投資はギャンブルと似たようなものと思い、資産の10%も投資に回してい

ません。これは日本人にとって大きな機会損失だと思います。

アメリカ人やドイツ人のように、投資に対する軸を持ち、長期で世界に分散投資をするというのが、一番シンプルで一番儲かる方法なのです。

平成の次の時代に、どこの国の株がどれだけ上がるかは予想できませんが、世界経済は人口も増え、毎年成長をしていきます。そこに投資信託を使って分散投資をして、長期で保有してください。そうすれば、**誰でも30年で資産を10倍にするチャンスがあります。**

本当だろうか？と思った方のために、まずは次ページから図を使って「投資のすごい効果」を紹介します。それだけの効果があるのになぜ、多くの人は投資を続けられないのかという問題提起もします。

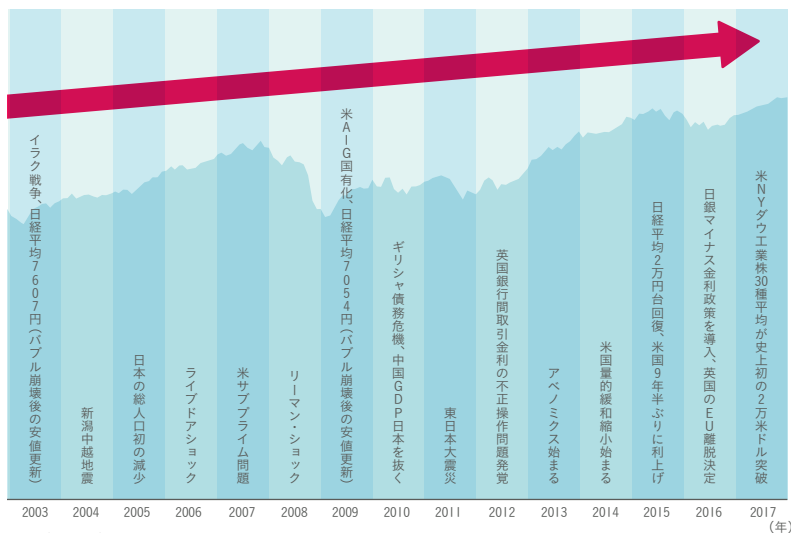
長期分散投資を継続するのは簡単なことではありませんが、人生100年時代、リタイア後に資産が枯渇しないためには、資産運用への正しい知識の取得と行動が必要です。つまり資産運用というのは、人生から切り離すことができない一生の問題なのです。

ぜひその問題にこの本を通じて向き合ってみませんか？

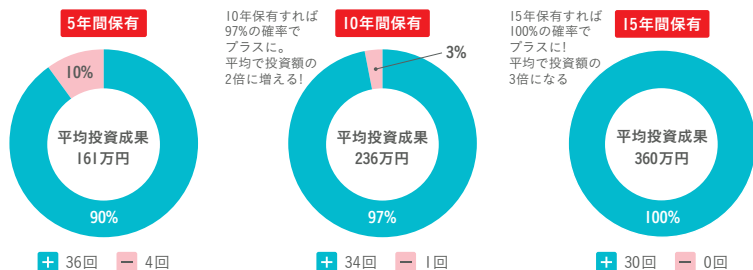
しない手はない!

は大きく、安定的に殖えていく

平成の間で資産は約**15倍**に!



(クラスC)と同一の運用手法を用いた運用戦略の実績をもとにした試算

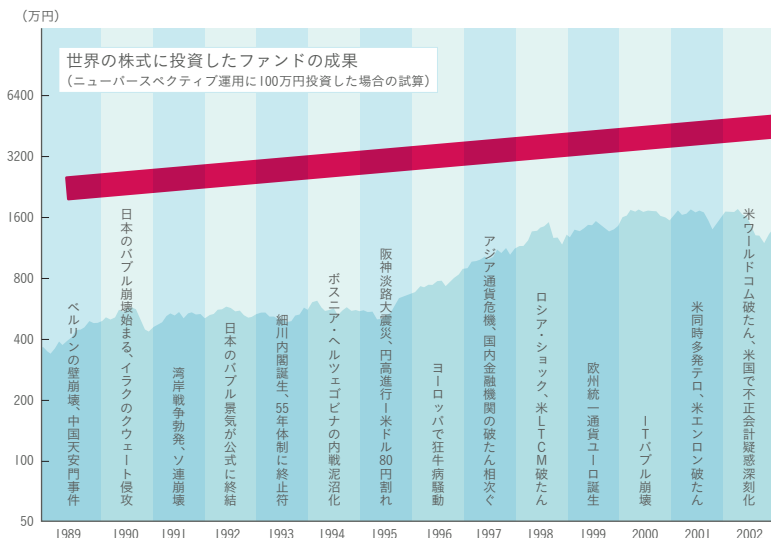


1973年の年末を起点に2017年末までを試算したもので、それぞれ年初から所定の経過年数後の年末までのリターンを集計

図でわかる! 投資のすごい効果

この世界に投資

長く投資すればするほど、お金

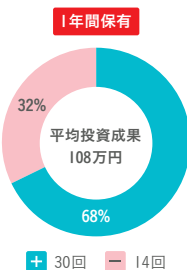


出所: キャピタル・インターナショナル株式会社

※上記は『キャピタル・グループ・ニューバースペクティブ・ファンド』

長期保有で
勝率は
ぐんぐん上がる!

保有期間別の損益の割合

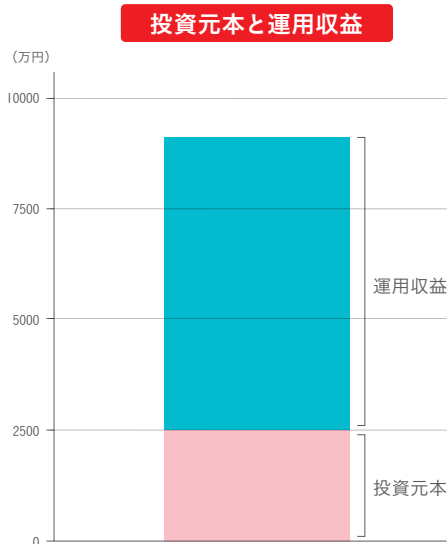


+ 30回 - 14回

出所: キャピタル・インターナショナル株式会社

には1億円!

資した元本の4倍になって戻ってくる



左の条件で積み立てた場合、
最終的には

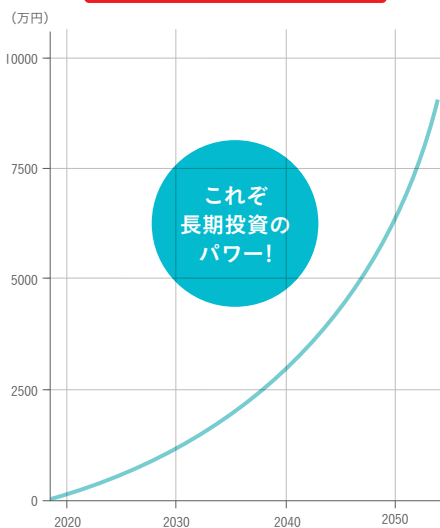
→ **9005万2730円**に!

図でわかる! 投資のすごい効果

気づいたとき

平均リターンの7%で試算すると、投

積み立て年数と金額の推移



毎月積立額

5万円



積立期間

35年



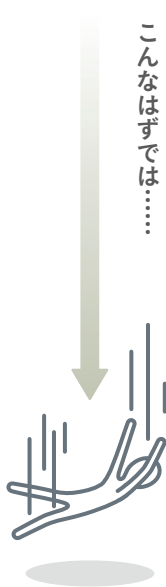
リターン

7%

途中で

しまう人が多い

期間は、たったの2~4年!!



こんなはずでは……

図でわかる! 投資のすごい効果

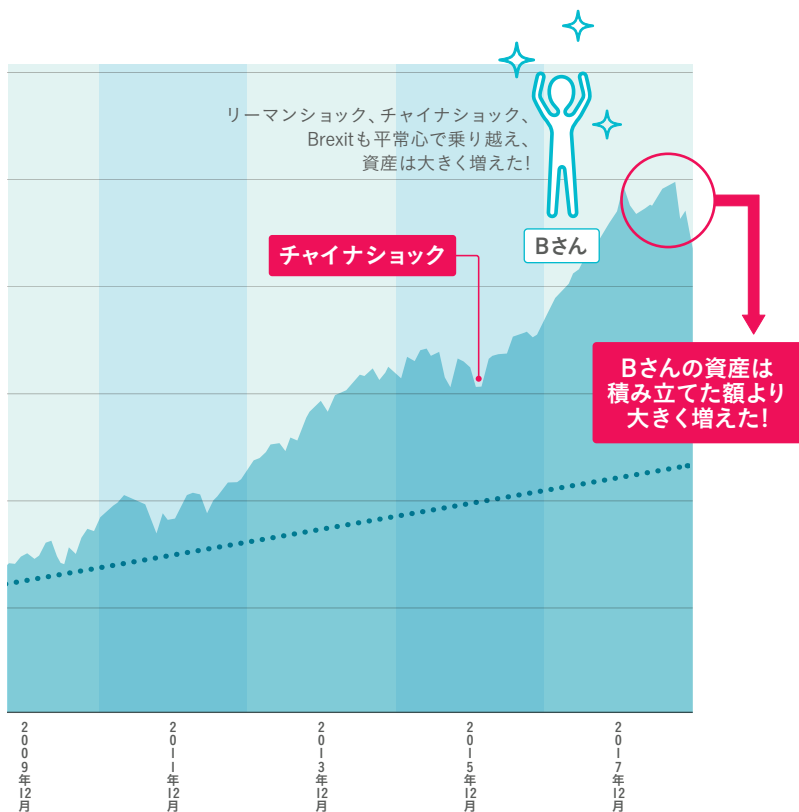
しかし、 投資をやめて 積み立て投資の平均継続

せっかく順調に増えていたのに……



ン・成功パターン

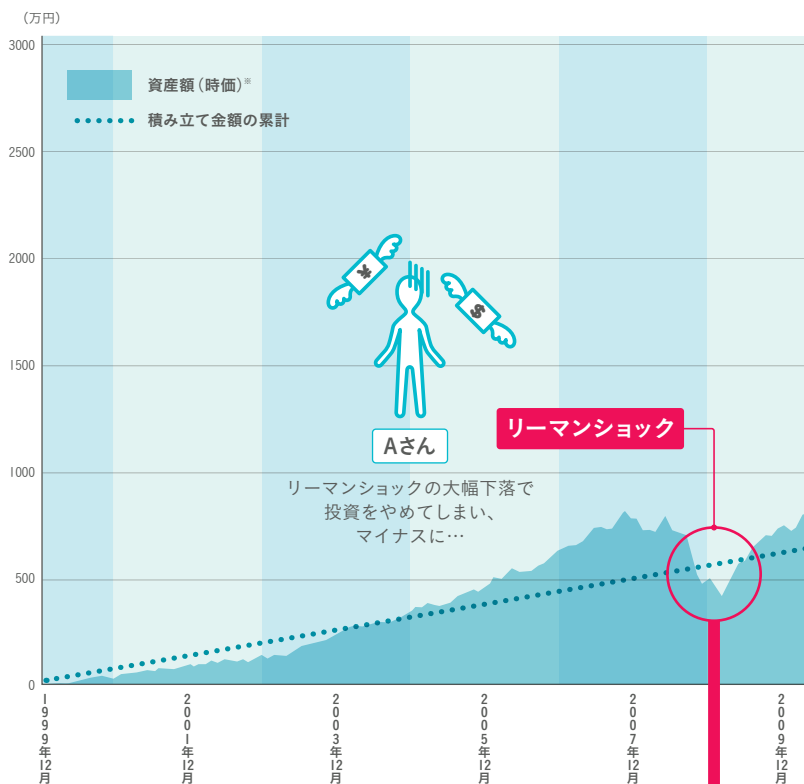
楽しいBさんの差とは？



※ MSCI ACWI (世界の株式を対象とした株式指数・円ベース)をもとに試算

図でわかる! 投資のすごい効果

よくある失敗パターン 投資が怖くなったAさん、



Aさんは投資が怖くなって脱落

「投資のすごい効果」を手にするためには？

うまくやるには 2つの力が必要!

本書ではPart 1とPart 2に分けて、
2つの力の身につけ方を解説します。

ブレない
投資マインド

+

一貫した
運用スキル

Part 1で解説

Part 2で解説

いざ本編へ!



読み終わったあなたはきっとこう思うでしょう。こんなに「カンタン」に「投資」で「お金」を殖やせるなら、もっと早く始めておけばよかった、と。

先生

隆一



隆一と一緒に
先生から資産運用の極意を
学びましょう!

はじめに

図でわかる！投資のすごい効果

この世界に投資しない手はない！

気づいたときには一億円！

しかし、途中で投資をやめてしまう人が多い

投資が怖くなったAさん、楽しいBさんの差とは？

「投資のすごい効果」を手にするためには？

うまくやるには2つの力が必要！

一番シンプルで 一番儲かる方法を知る（マインド編）

第1章 投資で儲けるために一番大切なこと

〈プロローグ〉先生との運命の出会い……………027

〈第1話〉新橋・日比谷神社で投資を教わる……………033

〈第2話〉投資とトレードはどう違う？……………039

〈第3話〉金持ちは株で資産を増やしている……………043

「投資」と「お金」のコラム①

人生100年時代のあなたの投資戦略は？……………051

第2章

1ドルが60万ドルに化ける資本主義のパワー

〈第1話〉人間の欲求が生んだ資本主義……………055

〈第2話〉億万長者になるチャンスがある社会……………064

〈第3話〉投資で儲けたお金は汚い？……………073

〈第4話〉投資で痛い目にあわないための知識……………080

〈第5話〉リスクから逃げるか、可能性に賭けるか……………085

「投資」と「お金」のコラム②

資本主義社会において長期投資をすることの最大の魅力……………091

第3章

バブルと投資の関係。儲かる仕組みが分かった

〈第1話〉長期で見れば株価は上がる。本当か？……………094

〈第2話〉マグロの価格とバブルの意外な関係……………105

〈第3話〉高いと分かっているのに買うのはなぜ？……………115

〈第4話〉株価が高いか、安いかを考えてはいけない……………127

「投資」と「お金」のコラム③

「バブル」と「暴落」を乗り越えて資産を増やしていく……………134

第4章

気持ちを整えるだけで投資の勝率は上がる

〈第1話〉独りよがりな投資で痛い目を見た…………… 137

〈第2話〉損失を減らしたいからリスクをとる!?…………… 148

〈第3話〉お徳感に潜む罠。「アンカリング効果」とは?…………… 156

〈第4話〉楽観主義は投資において利点か、それとも…?…………… 161

「投資」と「お金」のコラム④

人間の本能における投資とダイエットの意外な共通点…………… 168

第5章

長期投資がもっとも優れた投資法である本当の理由

〈第1話〉猿がダーツで決めたポートフォリオ……………172

〈第2話〉なぜ投資になるとふつうに考えられないのか……………178

〈第3話〉やっとなりに落ちた長期分散投資の魅力……………185

〈最終話〉もう投資なんてしないなんて言わない……………191

Part 2

一番シンプルで

一番儲かる方法を実践する(ノウハウ編)

お金が増える具体的で実践的な方法

具体的実践方法

①

世界株式型のインデックスファンドに投資する

204

具体的実践方法

②

ファンドのコストは基本的には低いものを選ぶ

205

具体的実践方法

③

iDeCoとNISA、驚くべき節税効果とは?

208

具体的実践方法 ④

50歳から始めても5000万円作れる

214

具体的実践方法 ⑤

60歳からリスクを抑えて70歳まで運用

219

具体的実践方法 ⑥

信頼のできるアドバイザーに相談する

220

具体的実践方法 ⑦

さあ、この10本に長期分散投資をしよう！

228

巻末情報

長期投資で使えるおススメのファンド10本

230

おわりに

230